

丸山湿原群保全の会会報

(第 174 号)

発行日：2022 年 (R3) 1 月 19 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com



2022年が始まりました！SDGsが昨年の流行語大賞にノミネート。「流行語」に対して違和感がありますが、議員さんや企業の方々から17色の丸型バッジを胸に活動・営業している姿をよく見かけるようになりました。2015年の国連サミットで採択され、メジャーになるのに約6年もの歳月。突然爆発的に宣伝されるようになったのは何故なのでしょう？

「SDGs＝持続可能な開発目標」この日本語訳もどうもピンとこない。「開発」と言えば重機（ブルドーザー等）で山を削ってカイハツ。昭和の考え方か？「人間の活動」と捉えるのが正解？「すべての生き物が住み続けられる社会を作るための目標」か？とにかく温暖化含め待ったなし。流行語で終わらぬことを願います。でも17の目標って？それ知らなかったら意味がない！
SDGsがお金儲けでもなんでも結構。未来への目標です。

(今住 1月18日作成)

定期活動★12月26日(日)北摂里山愛す会との協働・・・なんと中止！ 悲しい！

「北摂里山愛す会」とは何回か協働を実施。多い時は数十人。少ない時は一人。大波小波のお付き合い。例年は1月末でお願いしていました。ところが、なぜか協働の時には大寒波。大寒の時期なので当然といえば当然なんです。めったに降らない雪がなぜか降る。基本、車で来るしか方法がないのでヒヤヒヤの活動となっていました。

そこで「今年は12月中に実施しては」と提案があり12月末に。十数人のご協力予定でした。ところが「クリスマス寒波」。数日前からマスコミは第1級寒波の到来を告げ、雪や凍結に細心の注意を呼び掛けていました。ホストとしては「オロオロ」。状況を見て前日、もしくは当日の朝7時に中止決定をすることに。(周りからやいのやいの言われてですが・・・) せっかくだから何とか実施したい。刻々と変わるスマホの「ウェザーニュース」とにらめっこ。前日は夜から雪の予報。

当日の最高気温も3℃。これは参加者の顔ぶれ(年齢層)も考えると中止もやむなし。しかし、密かに「天然ナメコ汁」の準備をしてくれていた会員もいるのに・・・食べたい。テレビを見ても、スマホ見ても「ダメダメ」の要素ばかり。ナメコ汁を諦め、いや安全を考え前日の早い時間に中止連絡をしました。

いろいろ準備して下さった皆さん申し訳ありません



28日の丸山湿原 シカの糞に残った雪



当日9時ごろの予報 できたか？

んでした。ところが翌日、銀世界はなし！予報の画像のようになっていました。気温は低かったですが、雪はどんどん遅れ翌日に。28日に行ってみたのですが、うっすらとシカの糞に雪が残っていました。シカの糞多いね～。ま～中止の判断はヨシとしましょう！また来年お願いします。次回（今年）は12月前半や！来てくれたらですが。来てね。「北摂里山大学」で培ったスキルを有効活用しましょう！お願い！活用してる人も多いけど…。

定期活動★1月8日（土） NACS-J 自然観察指導員兵庫連絡会との協働

基礎調査 湿原内刈り取り作業 17名で活動

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導（EC）	PH
丸山	23	31	入口	10:00	5.3℃		
ハイキング	24	21	第3湿原	10:35	【4.5℃】	34.3 μ S/cm	7.3
散歩・登山	24	30	視点場	11:16	7.4℃	28.1 μ S/cm	7.3
来場者数 153 計人 (竹筒ポスト人数)			第1湿原	11:10	【2.0℃】	32.8 μ S/cm	7.3
			第2湿原	10:50	【2.2℃】	42.1 μ S/cm	7.3

新年最初の活動は念願の協働から！前回の活動日は荒天？のため中止。「北摂里山愛す会」とは



大人数で竹筒ポストカウント

る「自然大好き人間」の集まり。保全活動も経験してみたい、とのリクエストで実現しました。

今回の活動は通常活動。基礎調査と湿原内の又マガヤ刈り取り作業。第3湿原の又マガヤは絶対に片づけると意気込んで…。

人数が多いと作業がはかどる。当たり前ですが、当たり前に驚きました。またまた年末の活動が悔やまれる。



この日1番の働き者！なんと5歳！

か。近くに温かい見守りはありましたが遊びで結構。楽しく出来

残念なことになってしまいました。今回も「寒中」の活動。どうなるのやらと思っていたのですが、とってもいい天気。陽光がたっぷり降り注ぎポカポカ陽気。気温はそこそこ低いですが風がなく、動くと汗ばむほど。（厚着のせいかな？）5歳のお子さんも参加されるとのことでひと安心。

「NACS-J 自然観察指導員兵庫連絡会」はセミナーでお世話になった野本さん（「伊丹昆虫館」学芸員）を中心に自然観察会をされています。「NACS-J」は日本自然保護協会の略。兵庫の協会メンバーで構成されている



作業前の第3湿原



作業後の風景

5歳のお子さんが参加され心配されていたのですが、いちばん番の立役者ぶりを発揮していました。ちゃ～んと長靴も履いてるし。草集めのフォーク（大変危険？と思われる）を自在に使いこなしているではありませんか。



驚くべき速さで作業が進んだ



5歳裸足でランチ 元気だねー

おにぎりをほおばりました。その間も「自然観察指導員」さんは観察をされていました。何やら美しく動きの速いカタツムリ（マイマイ）。どこからかシカの頭蓋骨（鼻が折れていた？）を発見。カタツムリはベッコウマイマイ（鼈甲まいまい）の仲間か？後から調べると動きがとても速いのも特徴とか。でもベッコウマイマイの仲間かどうかは不明。どなたかご存知？

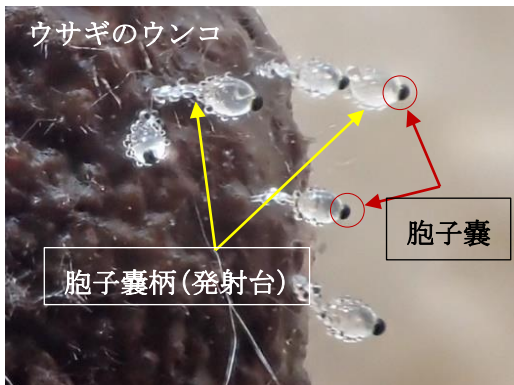


ベッコウマイマイの仲間？



シカの頭蓋骨 鼻折れてる？

「自然観察指導員」さん更に恐るべきは「ウサギの糞内キノコ」。ウサギやシカの糞（ウンコ）はよく見かけ、転がしたり投げたりして遊びますが、まさかその中に潜む菌類までは思いを馳せない。イノシシの糞をほじくり糞虫を探すことはあっても。それ（糞）を一種の確信をもって持ち帰りシャーレの中で観察は…しない。そこからはなんと、ニョロニョロのような「ミズタマカビの仲間」が見事生えるてきているではありませんか。（後日報告が届きました）**画像は孢子囊噴射直前の状態。よく見るとかわいく美しい。**しかも、動物に食べられないと孢子を作れないとのこと。先端の黒い孢子囊ははじけることなく、なんと2~2.5m 飛ぶとか。それが植物の葉などにくっつき再びウサギなどの草食動物が食べる。動物の腸内で孢子囊がはじけ発芽成長。



糞として出てきて噴射。というライフサイクルを作っているようです。内生糞生菌というそうな。あ～ややこしい。嘘言ってるかも。当然、外生糞生菌もあるみたい。奈良の「シカと芝生の関係」ともよく似ている。他の菌類も潜んでいるような。人も糞を出さなければ生きていけません、糞がなければ生きていけない生き物もいる。やっぱり持ちつ持たれつの自然生態系ですな。ミクロの世界も未知の世界。

菌類（キノコも）は土を作る分解者。もしこの菌類がいなかったら糞やごみ（有機物）は分解されずにそのまま…ウンコ（もちろん人のも）に埋まる？恐ろしいことになってしまいます。

ミズタマカビの仲間（写真提供 村上氏）

やたらアルコール消毒（今は必要）が増え「除菌！除菌！」と言っているとエライことになるのではと思うのは杞憂？杞憂やな。丸山湿原群保全の会では糞をもち帰ることを奨励しているではありませんのでご承知ください。しかし、感動もんです。感謝いたします。

その後フィールドを「宝塚西谷の森公園」に移し観察会が続けられました。

「NACS-J 自然観察指導員」にご興味のある方は、日本自然保護協会のHP をご覧ください。うちの会員も数名「自然観察指導員」として登録されています。「指導員」やけど、特によく知ってる人ばかりではありませんのでお気軽に。実は私もそれ。

今後「NACS-J 自然観察指導員兵庫連絡会」のフィールドとしてちょくちょく利用していただけるのか。その時はぜひご参加を！あなたの、私の知らない世界が垣間見られる？楽しみです。

セミナー・調査予告★2月27日（日）恒例！両生類セミナー・両生類卵塊数調査

毎年恒例となっている両生類セミナーと両生類卵塊数調査を実施します。昨年は講師の田口さんが広島からのZOOM講演。今年はぜひお越しいただき、対面で実施したいと思っています。ただ、今度はオミクロン株が猛威を振るっています。「宝塚西谷の森公園」多目的室での開催を予定していますが、場合によっては会場使用不可も。もしくは人数の制限が厳しくなる可能性もあります。ZOOMのみの開催ということもあり。不確定要素は多いですが、午後の両生類卵塊数調査は屋外ですので実施したいと思います。ぜひお申し込みください。

今年のセミナーテーマは「オオサンショウウオの保全活動から考える湿原保全」。田口さんの研究と真ん中。オオサンショウウオの保全。世界的に評価されています。湿原の保全とどう結びつくのか興味津々です。また、最新

の小型サンショウウオの話題も飛び出すかも。対面で実施できることを切に願っています。

・午後の部に参加の方は（片方だけ参加可）
丸山湿原駐車場集合 マスク・飲み物・筆記用具
（雨具）長靴が必要

※丸山湿原群にオオサンショウウオは生息していません

会場 40 名限定
状況によりさらに人数制限あり

無料

講師 田口 勇輝の
日本オオサンショウウオの会
会員 博士

ど真ん中

講演テーマ
オオサンショウウオの
保全活動から考える湿原保全

丸山湿原セミナー
両生類卵塊数調査

令和4年2月27日（日）

①午前の部 10時30分～12時
兵庫県立宝塚西谷の森公園 多目的室
（対面実施）
・会場閉鎖の場合ZOOM

②午後の部 13時頃～15時頃まで
丸山湿原両生類卵塊数調査
（各自昼食の後、湿原に移動）



コロナ対策ガイドライン順守



お問い合わせ
西谷地区まちづくり協議会事務局内
連絡先 090-1895-8061（今住）
E-mail: maruyamashitugengun@gmail.com

兵庫県立
「宝塚西谷の森公園」
アクセス



<https://nishitaninomori.jp/shisetu/accessroot/>
 JR
 武田尾駅下車
 阪急バス「西谷の森公園口」バス停下車 徒歩 10 分

車
 宝塚市南部から
 長尾山トンネル又は十万辻を經由 車で 30 分
 場所：宝塚市境野字保与谷 14-1
 電話：0797-91-1630

申込み方法

「丸山湿原群保全の会」
ホームページからお申し込みください

https://www.hitosato.com/maruyama-shitsugengun_hozennokai/

会場参加は先着 40 名まで
必ずマスクをご持参ください
検温もお願いいたします



午後のみ参加の方は「丸山湿原」駐車場集合

次回活動日 1月23日（日） 2月12日（土） 27日（日） セミナーと調査